

# 今(平成26年)から150年前のどきどき

平成26年(2014)の150年前は、元治元年(1864)です。この年は長州藩が様々な苦難に見舞われ、どん底に陥った年です。多くの出来事があり、150年目のメモリアルが満載です。その日が来たら、幕末の志士らが活躍した150年前に想いを馳せてみて下さい。

日	七卿の動き	長州藩の動き
1月11日	※七卿落のリーダー三条実美が朝倉八幡宮に参拝し、小松引きの吉例にちなんで松を振り取りました。現在の松田屋ホテルにある松です。	
1月15日	あゝの動乱もので... ※七卿落のリーダー三条実美が朝倉八幡宮に参拝し、小松引きの吉例にちなんで松を振り取りました。現在の松田屋ホテルにある松です。	
4月12日		●新たな藩庁舎(山口城)の建設が、現在の県庁地で始まりました。そのため多くの百姓が各地から動員されました。 お百姓さんは大変ですね
5月1日	●「七卿落」の五人が湯田に移り住みました(三条実美が何遠亭に、東久世・四條が龍泉寺に、三条西と壬生が草刈屋敷に)。 ●錦小路頼徳(七卿落の一人)の葬儀が湯田の龍泉寺で執行されました。のち赤妻(湯田)に葬られました(現在の赤妻神社)。	
5月8日		●京都で池田屋事件があり、多くの長州藩士が斬られて亡くなりました。 ●英国留学していた井上馨と伊藤博文(長州ファイブ)が外国艦隊との戦いを止めるために山口に帰り、十朋亭に滞在しました。そこから藩庁へ通い、説得に努めました。しかし、その努力も空しく開戦へ突き進む長州藩...
6月5日		●京都で池田屋事件があり、多くの長州藩士が斬られて亡くなりました。 ●英国留学していた井上馨と伊藤博文(長州ファイブ)が外国艦隊との戦いを止めるために山口に帰り、十朋亭に滞在しました。そこから藩庁へ通い、説得に努めました。しかし、その努力も空しく開戦へ突き進む長州藩...
6月24日		●禁門の変が起こりました。長州の先発隊が京都へ進入、会津藩等と砲火を交え、敗北しました。久坂玄瑞など数多の優秀な人材を失いました。
7月13日		●毛利元徳・三条実美ら総勢三万人が会津藩の排除を目指して京都へ進軍しました。鰐石橋で町人ら大勢が見送りました。
7月19日		

## 「日本のクリスマスは山口からNO.1」協賛事業 サジェルの贈り物 菜香亭キモノカフェ

12月上旬に5日に渡り菜香亭の大広間で着物カフェを開催しました。今年でなんと4回目ということで恒例行事となってきました。昨年までは2階の会議室を使用していましたが、今年は紅葉が美しい庭を眺めながらゆったり大広間で寛いでいただきました。例年通り大正ロマン風着物にエプロン姿のメイドさんが色を添えてくださいましたので、紹介します。



広島放送局からの取材があり、放送後広島からのお客様がたくさん来られました！うれしいことです。



### キモノカフェ

はじめて菜香亭のキモノカフェに行きました。大正ロマンあふれる可愛いメイドさんにおもてなされ



## 「日本のクリスマスは山口からNO.1」協賛事業 クリスマスの寄せ植えを作ろう

12月7日(土) 菜香亭でクリスマスの寄せ植え教室を開催しました。大変人気の講座でたくさんのご応募いただきました。講師は岡部園芸の岡部達矢氏です。花材はポインセチア・ゴールドクレスト・ノースポール・白花え菊・ビオラ・アリッサム... 配置の仕方と表情が変わって面白く、参加者のみなさんは大変生き生きと作業をすすめておられました。作品が完成するとティータイム。映像詩「山口×パンプルーナ」を見ながら日本で初めてクリスマスが祝われたお話も聞いていただき、あらためて大内氏の絢爛たる時代を思い馳せていただくこともできました。



すてきなクリスマスをむかえられそう!

さかもとみゆきさんは、山口市在住の漫画家。漫画教室も随時開催されています。菜香亭サポーターズとしてもご協力いただいています。

日	七卿の動き	長州藩の動き
7月23日		
8月4日		
8月14日		
9月25日		
9月26日		
9月27日		
10月25日		
11月1日		
11月11日		
11月15日		
12月16日		
12月27日		



沢です。よその攘夷運動から声がかかり居ても立ってしまいました。もどって来て山口で潜伏中。



●三条実美ら、大内長野で松茸狩りを楽しみました。

●三條実美ら公家五人が長府功山寺へ移転のため湯田を出発しました。同日、中山忠光(攘夷派の公家)が下関で暗殺されました。

※七卿落 落ち延びた七人の公家のこと。  
※七卿落 攘夷運動で天皇の反感をかった七人の公家が長州へ落ちのびた事件。  
※池田屋事件 攘夷派の志士が新撰組に襲撃され惨殺された事件。  
攘夷運動とは、外国が開国をせまったことに抵抗した運動。日本が植民地になることを恐れたため。

●長州藩追討の勅命(天皇の命令)が下りました。長州藩は朝敵となり、幕府は長州征伐軍を起しました。  
●井上馨の策動で、謹慎中の高杉晋作が藩庁に呼び出され、外国艦隊との和平交渉を命じられました。  
●5日に行われた下関での戦争で完全敗北した長州藩は、外国艦隊と和議を結びました。  
●幕府抗戦派の井上馨が、湯田の袖解橋で襲われ重傷、美濃浪士所郁太郎が縫合し、「命はとりとめました」。  
●周布政之助が、現状を憂いて責任を感じ、山口の住居としていた矢原の吉富家の畑で自害しました。  
●捕縛を逃れた高杉晋作が湯田で療養中の井上馨を見舞いました。この頃、禁門の変の関係者の投獄が相次ぎました。  
●長州藩主父子が謝罪の態度を表明し幕府軍の条件(責任者処罰・山口城破却・五卿移転等)を受け入れました。  
●禁門の変で軍を指揮した三家老(益田右衛門介・国司信濃が徳山で、翌日福原越後が岩国で)が切腹しました。その後、多くの関係者が処罰されました。  
●高杉晋作が、三条実美らがいる長府の功山寺を訪れ、決起を宣言しました。  
●長州征伐軍トップの徳川慶勝が、長州藩主の謝罪と要求した条件を確認、長州征伐を終了しましたが、幕府内部ではもっと過酷な処罰を望む声も止みません。同日、高杉晋作が山口矢原の大庄屋吉富に軍資金を求める使者を送り、二百両を入手し、決起資金としました。

山口市菜香亭だより

# 西の菜時記

平成26年1月10日発行  
第31号  
発行元: 山口市菜香亭  
指定管理者  
特定非営利活動法人  
歴史の町山口を甦らせる会

山口市菜香亭だより

# 西の菜時記

平成26年1月10日発行  
第31号  
発行元: 山口市菜香亭  
指定管理者  
特定非営利活動法人  
歴史の町山口を甦らせる会